

**平成２８年度 野田市立あすなろ職業指導所指定管理者
管理運営状況調査**

担当課 障がい者支援課

評価基準	評価項目	指定管理者 自己評価	担当課評価	特記事項
利用者の平等利用が確保されること	①利用者の平等利用確保への取組	B	B	
施設の効用（設置目的）が最大限発揮されるものであること	①ニーズ把握とサービス向上の取組	B	B	
個人情報の適切な保護が図られていること	①個人情報保護への取組	B	B	
緊急時の危機管理体制が確立されているか	①施設の安全管理の取組及び緊急時の危機管理の取組	B	B	
	②要望、苦情に対応するための取組	B	B	
有効な就労支援の提供が図られていること	①就労支援のための取組	B	B	
有効な生活介護の提供が図られていること	①生活介護のための取組	B	B	
衛生管理が適切であること	①パン製造等にあたり衛生管理のための適切な取組	B	B	
現金の取扱い等の経理処理が適切に行われていること	①現金の取扱い等の経理処理の適切な処理の取組	B	B	
管理経費の縮減が図られるものであること	①指定管理に係る経費の設定額について	B	B	
	②管理経費縮減のための取組	B	B	
地元住民の雇用、物品及び役務の調達に際しての地元業者への配慮	①地元住民の雇用及び地元業者への配慮	B	B	
事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	①職員配置について	B	C	
	②職員の指揮監督・管理体制について	B	B	
	③人材育成の取組状況	B	B	

【総合所見】 ７月及び８月末に職員の退職が集中したことで、支援員の確保が追いつかず結果として欠員が生じる事態となりました。

欠員によるサービスの低下を回避するとともに、仕様書内容の履行を最優先に対応するため、日中は所長自らが支援業務に入り、支援終了後に所長の業務を行うなど、施設側の企業努力と非常勤を含めた職員の協力体制などにより、最低限の水準を満たしたなかで、サービスを提供することができました。

本来であればこのような状況が生じないよう管理運営する必要があるため、評価項目（１）職員配置は担当課評価をＣ評価とし、職員が欠員となった期間の指定管理料の人件費については、精算しました。

今後は定期的な職員会議の開催や所長による毎月の職員面談を行い、現状と問題を把握するとともに、市も施設の所長と毎月面談し運営状況等を把握、問題の早期発見に努めていきます。